

# 海外親子事情

## アメリカ

アダム・ニューマンさん

日本では「パラサイト・シングル」など、親子関係の変化が社会問題になっています。では、こうした「裕福な親とそこから自立できない子ども」という現象は海外でも見られるのでしょうか。

国が違えば当然、文化も考え方も違ってきます。ここでは、アメリカのアダム・ニューマンさんと中国の王惠英さん、肖虹さんに自立の様子、意識の違いについてお話をしました。

王惠英さん  
肖虹さん

### 家族にお金を渡すのは喜び、 家族の絆を重んじる国

Q 中国では、子どもにとって親はどんな存在ですか。

王「神様みたいな人。尊敬しているし、言うことを聞かなければいけない存在です。私の父もとても厳しく、学校に入る前から算数や字の勉強をさせられていました。当時は怖かったですが、今となってはそんな親の厳しさはよかったです」

肖「私も親を尊敬しています。お父さんは料理も服を作るのも上手でしたが、別格の存在で、子どもには厳しかったです。そういう父を、母が立てる感じでした」

Q 家族や親戚とのつながりを大切にしているというイメージがありますがどうですか。

王「そうですね。子どものころから、毎週末にはおばあちゃんの家に行って過ごしていました。特に何をしようというわけでもないのですが、親はそれを親孝行のためにやっていたようです。遠くの親戚にも、電話や手紙で連絡を取り合うのが普通です」



家に集まって、一緒に食事をしたり、子どもたちはそのまま泊まったり……。そういう絆を大切にしている習慣は、今も変わっていないですね」

Q 中国で自立といえばいつごろですか。

王「一応の区切りは結婚ですね。働き始めても、結婚しなければ親と一緒に住みます。自分のお給料からは、お母さんには生活費、お父さんにも自分の気持ちとしてお金をかけてもらったから、返すのが当たり前。自分が働いて稼いだお金を親に渡せることは、喜びでもあります。逆に、働き出してから親から小遣いをもらうのは、恥ずかしいことですね」

肖「親に渡す金額は人それぞれですが、最低限の生活費を払うのが常識です。親は、子どもからお金をもらいますが、よほど経済的に困っていない限り、貯金しています。子どもの結婚資金に使うことが多いです。親と一緒に住むのは、賃貸物件がありません。親と高くても住めないことも理由の一つ。それとやはり古い考え方で、親として、結婚前に娘を一人で住まわせるのは心配、というのがあるのでしょね」



ものごしやわらかながら、しっかりとした考えをもつ王惠英さん（左）と肖虹さん（右）。二人とも現在、ふじのくに親善大使として活躍中

### …老いも若きも… 自立することが尊敬される国

Q アメリカでは、いつごろ家を出て自立しますか。

大抵、18歳か22歳で家を出ます。就職や大学入学・卒業がきっかけですね。

Q 自宅から通える距離でも家を出るのですか。

そうですね。早く自立することが、尊敬されるひとつの要因ですから、たとえ家業に入っても、別の所で暮らします。

Q 親も自立を望んでいますか。

はい。早く家を出ることが、親孝行なのです。(笑)  
ただ、やはり寂しくなりエンブテイネストシンドローム（空巢症候群）になる人もいます。それは、親の気持ちとして自然だと思えますが、子どもが自立した後、いかに自分の人生を楽しむかということも、

アメリカ人にとって、大切なことです。

Q どのようにして、楽しむのですか。  
日本では、定年退職したり、子どもから手が離れてしまうと、まるで人生が終わったように感じる人が多い気がします。アメリカでは、それから自分の時間として再就職したりします。僕の母は障害児の学校の先生を始めました。また、それまでできなかった趣味にトライしたりして、生活を充実させます。

Q 親の老後は、誰が面倒をみるのですか。  
年をとっても、なるべく子どもの世話にはならず、自立していたいと考えます。子どもには子どもの生活がありますから。どうしても、介護が必要になったときに、家族がみたり、ホームに入ったりします。

Q 自立するように、教育されるのですか。  
それは、アンズピーキングティーチング（暗黙の教え）ですね。しっかりと自立し、自分の意見をはっきり言える人間になることが、理想とされています。

Q 具体的に、どんな子育てなのですか。

子どもが生まれる前から個室が用意され、早い時期に、赤ちゃんとは別の部屋で寝るようにします。小学校に入ったら、チャイロシステムといって、自室や庭の掃除などの家事手伝いをして、おこづかいをもらいます。夫婦は、ベビーシッターを頼み、週1回は二人で出かけて、大人の時間を持つようにします。私の家は土曜の夜でした。

Q 最後に、日本人に対して思うことは？  
留学などして、非常に優秀な男女が、最後は「親の元に帰らなければ」と言って可憐性を捨てて、あっ！私にはそう見えませんが、田舎に帰ってしまうのはとても不思議です。

以上、快く質問に答えてくださいました。取材した編集部より若いにもかかわらず、彼には風格があり、文化の違いを感じました。アメリカでは、親が明確な信念をもって教育し、また人生も楽しんでいきます。



「お辞儀も板についた」さわやか好青年アダムさん。県の国際交流員として活躍中

# 生活費 のぞいてみると…

若者の結婚、居住形態 (1995年)

性別・年齢	結婚形態 (%)				未婚率 (%)
	既婚	独居	親同居	その他	
男性・20~24歳	7.4	26.9	59.3	6.4	92.6%
男性・25~29歳	33.1	22.8	39.9	4.2	66.9%
男性・30~34歳	62.7	13.5	21.7	2.1	37.3%
女性・20~24歳	13.6	15.8	65.1	5.5	86.4%
女性・25~29歳	52.0	9.7	35.1	3.2	48.0%
女性・30~34歳	80.3	13.1	5.2	1.4	19.7%

(注) 国勢調査より加工

出典：山田昌弘著『パラサイト・シングルの時代』より

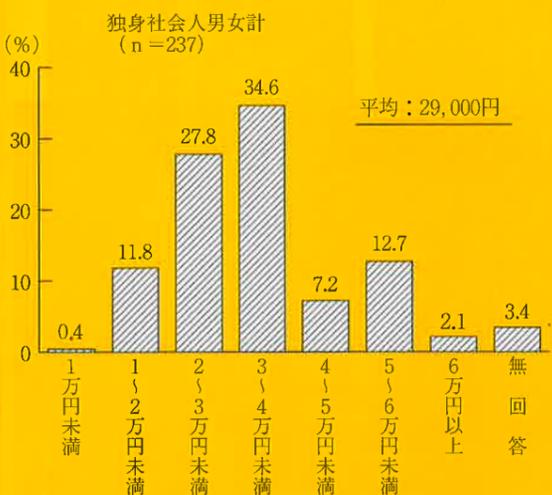
世界の青年の居住状況 (単位：%) 18歳~24歳

区分	国名	日本	アメリカ	イギリス	ドイツ	フランス	オーストラリア	韓国	タイ	インドネシア	ロシア
一人暮らし		11.9	10.1	6.4	19.4	15.2	29.3	2.3	0.5	1.4	2.5
同居	父(義理の父を含む)	73.7	36.4	42.9	41.3	49.0	33.5	78.0	65.2	69.2	50.1
	母(義理の母を含む)	79.2	47.5	50.2	49.2	59.6	38.8	83.8	74.4	74.4	61.4
きょうだい		61.8	21.7	30.9	19.1	39.9	25.6	80.2	74.6	65.0	56.4
居	祖父または祖母	24.7	4.3	1.2	2.3	1.5	1.4	9.0	11.0	14.0	6.4
	夫または妻(内縁の関係を含む)	7.4	17.4	17.8	21.2	11.9	15.5	4.3	16.5	34.1	25.4
	あなたの子ども	4.9	9.3	12.7	5.9	4.9	5.2	2.2	17.3	18.9	20.0
者	友人・ルームメイト・同僚など	0.8	13.4	13.8	5.7	6.0	6.0	2.8	2.7	3.6	1.7
	その他の人	0.4	2.8	2.6	0.3	5.1	1.1	2.1	25.5	8.3	11.6

(出所) 総務庁「第6回世界青年意識調査報告書」(1997年調査)

出典：山田昌弘著『パラサイト・シングルの時代』より

1カ月あたり親に入れていく額 18歳~29歳



出典：(株)食品流通情報センター「若者ライフスタイル資料集'99」

ユーシーカード「独身社会人500名に聞く、ゲンダイ親子関係とお金」より

## パラサイト？助け合い？

藤子さんは、32歳。東京の音楽大学を卒業後、東京で音楽関係の仕事に就き、TVでも有名な音楽家のアシスタントを精力的にこなすなど、仕事に夢中でした。

しかし、6年の月日が過ぎ、仕事では理想と現実との狭間で悩むようになり、気が付くと東京での目まぐるしい暮らしが嫌いになっていました。そんな時期、静岡の父親が半身不随のため介護が必要になったことを知り、それを機会に静岡に戻り両親と同居し始めました。

静岡で3年を過ごした今、東京で疲れた心が回復していくのを藤子さんは感じています。母親と一緒に父親の介護をしつつ、生活する藤子さんは言います。「最近は季節の花あしらいや、食事のときの器にも凝っています。パラサイト？実家の経済的な余裕で成り立つ私の生活は、そう言われてしまうのでしょうか」。

## あなたの隣のこんな人

「パラサイト・シングル」を自分には関係のないものと思っているあなた。その猛威はあなたのすぐそばまで迫っています。ここでは、ちょっと隣ののぞいてみましょう。これをきっかけに“あるある”とうなずけるはず。

「そろそろ、一人暮らしを始めたらか？」友人たちの助言もあって、30歳をとくに過ぎてしまった花の？独身女性静子は、ようやく独立の決意をしました。

実家には、姉夫婦が5年前から同居、義兄とはそりがあわず、犬猿の仲でした。それでも実家に住み続ける理由は、彼女曰く「お嫁に行くなら実家から。お見合いするにも実家に居ることが、有利なの」だからだそうです。

3人姉妹の末っ子の彼女は、両親の愛情いっぱいに育ちました。母親も彼女には特に甘いのです。

1か月後、静子から便りが届きました。彼女が借りたアパートは実家と目と鼻の先。毎朝毎晩、実家に寄って食事をとり、会社を持っていくお弁当も、母親が未だに作っていると当たり前のように生活の様子がつづられています。挙げ句に後輩の独身女性浜代に「浜代も、そろそろ実家を出て、一人暮らしをしたらどう？」と先輩風をふかす始末。「自立とは何か？」もう一度考えてみる必要がありそうです。

## 目標あり・期間限定 パラサイト

舞さんは28歳。短大卒業後、就職し、一人暮らしをしていましたが、自分の希望していた仕事ではなかったため、5年で退職。ふたたび親元に戻っています。彼女はインテリア関係の仕事に興味があり、自分の店を持つことを目標にしています。今はその資金を稼ぐためと割り切って、身の回りのことは親に任せ、三つのアルバイトをかけもちする忙しい毎日。たまの休日にもインテリア・コーディネート勉強や友人との情報交換、人脈づくりに余念がありません。「家にお金を入れないのは目標達成のため。開店資金など独立のめどがたったら、そのときは生活の一切を自分で切り盛りしていく自信はあります」と舞さん。一方母親の福子さんも「やりたいことを自分なりに考えてやっているようなので、黙ってバックアップしています」と言います。30歳までに、とピジョンも明確になってきました。夢の実現まであと一歩です。

## 子ども部屋

豊さん兄弟は20代。親が家の近くに新築マンションを購入、そこに寝泊まりしています。進学した兄と比べ早く就職した豊さんは給料の全額を自分のものとしています。兄は、月額3万円を家に入れていますが、仕事が終わると母親が準備した夕食弁当を受け取りマンションで晩酌をしながら食べています。「飲酒運転で交通事故を起こしたりしたら大変ですからね。週末は家で一緒に食事をしてこちらに寝るんですよ」と語る母親が豊さん兄弟の食事と洗濯を引き受けています。

豊さんの父親は長男の友人と飲むのを楽しみにしており、少し間が空くと飲み会の催促をするほど。両親は「長男は結婚後の同居を望んでいるし、弟は結婚するまで今の状態が続くでしょうね。二人の車、2台分の駐車場代も親が支払っているんですよ。でも今が一番良いときかもしれませんね」と笑っていました。

## お就職

竜洋さんは、今年30歳。小さいころから成績優秀。順調に大学を卒業、さあ就職というときに張り切ったのは、彼の父親。一流企業にコネがある父親は「親心」という大義名分のもと、息子に就職を斡旋しました。竜洋さんの方も、抵抗もせず、すんなり就職しました。その後、彼が直面したのは、普通に厳しい会社生活。仕事は忙しく、残業だってあります。彼は、会社に不満を感じると同時に父親に責任転嫁するようになりました。「そんなに嫌なら、やめれば？」と愚痴を聞かされる母親はそう助言します。めでたく退職となると、父親は、すぐに次の会社を見つけられます。流されるように再就職をした竜洋さんですが、今度は原因不明の腸炎になり、仕事もできない状況です。またまた、父親はあつちの名医、こつちの大病院を紹介します。

さて、竜洋さんが自分の頭で考え、自分だけの意志で行動できるのはいつのことでしょうか。

## 一人暮らしを 始めたけれど…

静岡市郊外、日本  
平パークウェイの登り口にある  
日本平動物園は、静岡の人々に愛されて  
今年で開園31年目。現在、189種、800余りの  
動物たちが、私たちを出迎えてくれます。毎年、  
園内の若葉が目に眩しい季節には、ベビーラッ  
シュで動物園は大忙しになります。動物園での子  
育て事情について、飼育課長の大村正栄  
さんに園内を歩きながら話をう  
かがいました。

# 動物たちの

# 子育て事情

## 静岡市日本平動物園



強い絆で結ばれたレーナと飼育員の小野田裕典さん。  
親離れまでの限られたときをやさしく、厳しく過ごしていく

「動物の親たちは、子育てをちゃんとする。『その時期』がくるまではね。こいつは一人前、もういいよってときまで、めいっぱい、そりゃあもう人間以上に可愛がるよ」

人間と違って寿命が短い動物は、大人になる時期も早い。ここ日本平動物園の動物たちも例外ではなく、親は子どもを自立させるために一生懸命に子育てをするそうです。

その子育て期間は、動物の持っている本能、生きていくための大切な訓練、だから「親のしつけは、大変厳しい」と大村さん。

こうして独り立ちの練習を親から学んだ子どもたちは、動物園では「その時期」がきたら必然的に飼育員さんたちの手によって、親離れのときを迎えます。

多くの動物の世界では、子育ては母親の役目、それが自然界の摂理。

「でも、初産のために自分がどうしているのかわからなくて、子どもにおっぱいをあげることができない親もいる」。チンパンジー

のレーナは、母親ビーチの子育てがうまくできなかったために、人工保育で、飼育員さんたちのこまやかな愛情で育てられています。今では、親代わりの飼育員さんたちのしつけによって、正座をしてミルクを飲むほどです。

では、動物園にはお父さんも一緒に子育てをする動物はいるのでしょうか。

「小型のサルは、お父さんも子どもと一緒に遊ぶね。チンパンジー、エンペラータマリなど。わたぼうしパンシエは必ず双子を産むから、一方におっぱいをあげているときは、もう一方をお父さんがちゃんと背負って交互で見ている。両親と一緒に子育てをするよ」となんとも微笑ましい、心強いお話も。

日本平の緑豊かな環境のなかで、すくすく育つ子どもたち。その背景には独りで生きるということ、小さいころから教えていく親たちの厳しい愛情があるのです。



小雨の降るなか、活発に動く子どもと飽きることなく遊ぶ親。切り株から降りたり登ったり忙しい

# されるぞー パラサイト 子イック

20代以上の子どもを持つ親になった気持ちでお答えください。

- |    |                                  |     |
|----|----------------------------------|-----|
| 1  | 子どもが独立した後の、自分の人生が楽しみだ。           | Y/N |
| 2  | 子どもから生活費を入れてもらっても、使えない。          | Y/N |
| 3  | 子育てでやり残したことがあるような気がする。           | Y/N |
| 4  | 小さいころから子どもには家事を分担させ、手伝いを習慣にしている。 | Y/N |
| 5  | 子どもが結婚しても同居してほしい。または、近くに住んで欲しい。  | Y/N |
| 6  | 子どもは私の唯一の生きがいである。                | Y/N |
| 7  | 子どもの一番の理解者は自分だ。                  | Y/N |
| 8  | 今も子ども名義の生命保険料を支払っている。            | Y/N |
| 9  | 子どもの部屋の掃除は親がする。                  | Y/N |
| 10 | 食事の献立は夫（妻）より子どもの好みを優先する。         | Y/N |
| 11 | 就職が子どもの自立だと思う。                   | Y/N |
| 12 | 週末、子どもが何をしたかを言える。                | Y/N |

## 採点表

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
Yes	0	5	5	0	5	5	5	5	5	5	0	5
No	5	0	0	5	0	0	0	0	0	0	5	0

あなたはどんな親？合計点で見てください。

### 0～5点

#### パラサイトPなんて心配ご無用

あなたは、子どもとよい距離感を保ちながらそれぞれの生活を築かれているようです。自立は、他者とのよりよい関係を結ぶ基本です。これからも自分の生き方を大切に、前向きに人生を楽しんでください。

さい。  
「パラサイト・シングル」増殖中の今、あなたは親たちのお手本です。

### 10～15点

#### 隠れパラサイトP

あなたは、表面的には子どもをうまく自立させているようにみえますが、心の底では、まだ子どもにしがみついています。子どもの「みんなやっけてもらっているよ」という言葉でついつい手を出してしまっているあなたは、「家は家だ」と

いう魔法の言葉を使ってください。あなたから子どもとの距離をもう少しおきましょう。5年後、10年後、その先のことを考えて自分の足で歩ける強さを教えましょう。

### 20～35点

#### 実はパラサイトP

あなたは、現在の日本の大多数の親といえます。子どもは「一人前」と思っているにも頼られると「やっぱり私がいなければだめ」と内心喜んでしまうあなた。そこで張り切って応えてしまうと、そこに子どもは安住し、自立

しなくなるかもしれません。ここでは、アドバイス程度にとどめ、完全なる「パラサイト・シングル」にさせないためにも、あなたが、さらなる自立に努めましょう。

### 40～60点

#### すでにパラサイトP

あなたは、気付かないうちに「パラサイト・シングル」を作り出す親になっているようです。このままでは、あなたも子どももきちんと自立できない状態になってしまいう。子どもの将来のためにも、

自分の人生のためにも、過剰な子どもへの援助をやめ、自分の生きがいを探しましょう。きつと自立した人間として子どもと向かい合うことができるはず。